

経営比較分析表（令和6年度決算）

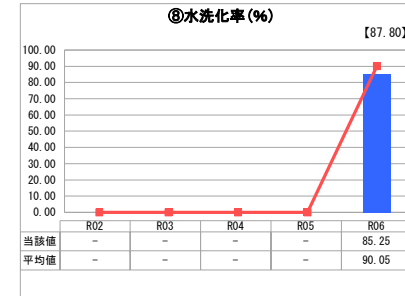
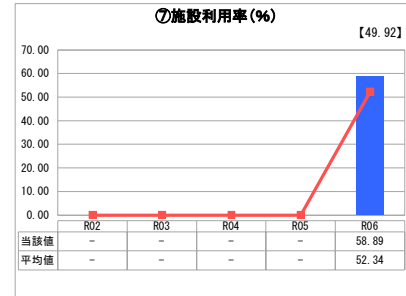
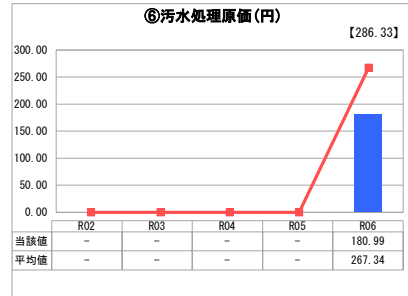
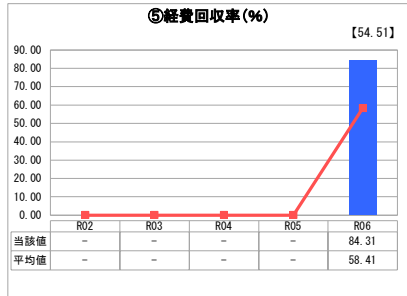
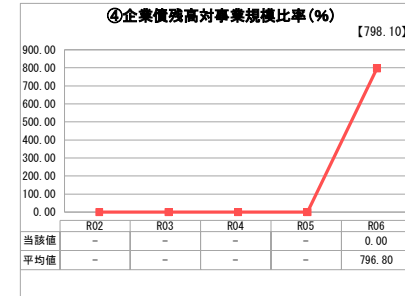
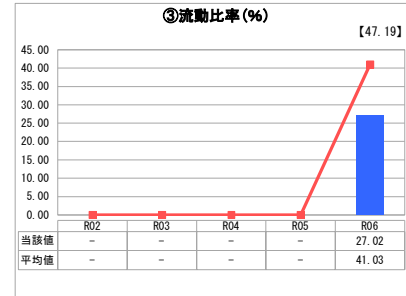
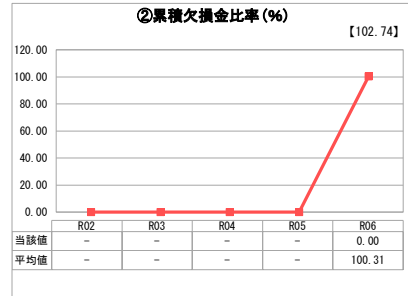
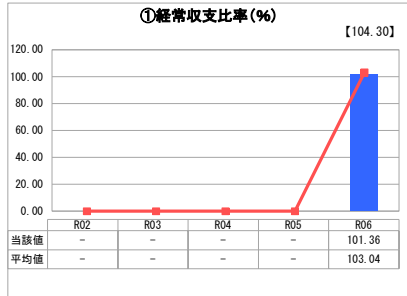
茨城県 結城市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.09	5.09	100.00	4,730

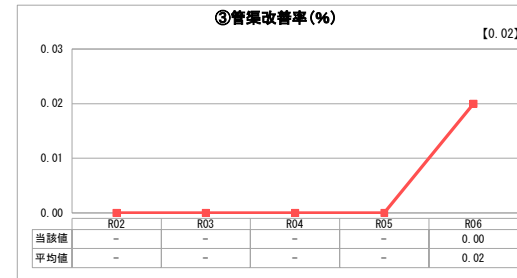
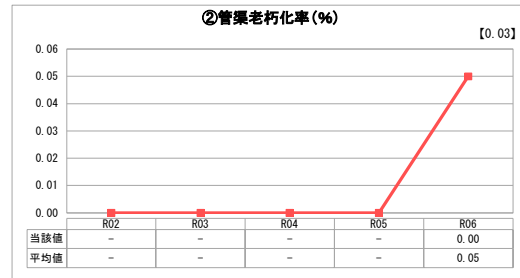
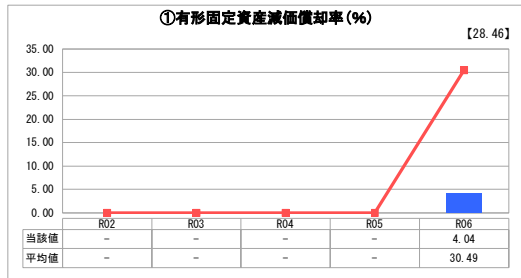
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,528	65.76	753.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,516	1.41	1,784.40

分析標
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析標

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、収支が黒字であることを示す100%以上となっているため、経営は健全であるといえる。しかし、類似団体平均値を下回っているため、計画的な施設修繕等により費用の削減を図っていく必要がある。
- ②累積欠損金は発生しておらず、経営は健全であるといえる。
- ③流動比率は100%を下回っており、1年以内の支払能力が低いことを示している。流動負債の多くが建設改良費に係る企業債であり、施設整備により今後使用料収入等現金の増が見込めるが、より支払能力を高めるために接続率向上等に努める必要がある。
- ④企業債残高対事業規模比率は、R8年度に矢畑地区が、またR12年度に江川南地区がそれぞれ供用開始20年を迎えるが、大幅な改修等を行うようになった場合、再び比率が上がることとなる。
- ⑤経費回収率は類似団体平均値よりも上回っているが、100%未満であるため使用料で回収すべき経費を一般会計繰入金等の使用料以外の収入により賄っている状況であり、経費回収率の増に努めることが重要である。
- ⑥汚水処理原価は類似団体と比較して低く、効率的な汚水処理が行われている状況である。
- ⑦施設利用率は類似団体平均値を上回っており、適切な施設規模であるといえる。
- ⑧水洗化率は類似団体と比較して低い。効率的な汚水処理が行われ施設にも余裕があるが、水洗化利用率が低いこと接続率の向上が課題である。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より低く、早急な施設の更新等が必要な状況ではないといえる。R7年度策定予定の最適整備構想に基づき、計画的な更新を図っていく。
- ②管渠老朽化率は0であり、法定耐用年数を超えた管渠はない。
- ③管渠改善率は0であり、更新した管渠はない。

全体総括

現在の経営状況は概ね健全であるが、類似団体平均値との比較により、改善すべき課題もあるといえる。
 経営の健全性、効率性で分析のとおり、現状では指標上黒字になったに過ぎない。経費回収率は100%未満のため使用料で回収すべき経費が使用料以外の収入により賄われている状況である。
 機能診断や最適整備構想によって、改修や修繕の必要が出てくる。そのために経費削減や適正な使用料確保による財源の確保を行わなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。